

【問題】	【POINT】
<p>戊辰戦争の際の列国の態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●戦乱拡大で対日貿易に支障をきたすことを恐れ、欧米列国は局外中立として、内乱終結まで武器援助などをしない不関与の態度を宣言 ●旧幕府軍はアメリカからの武器購入ができず、結果として新政府軍が有利に ●箱館戦争を間近に控えた新政府の強い要求により局外中立の撤廃が宣言
<p>明治政府の機構の変遷</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●王政復古の大号令後…三職七科の制が発足(ほどなく三職八局の制に変更) <ul style="list-style-type: none"> ※三職⇒総裁(有栖川宮熾仁親王)・議定(皇族・公卿・諸侯など)・参与(雄藩の代表) ※徴士⇒全国の有能な武士 ●政体書の発布後…立法・行政・司法の三権に分け、議政官以下の七官を置き、これらの中央官庁を太政官と総称【三権分立の実はなく、行政官が、国政の決定・執行の中核機関】 <ul style="list-style-type: none"> ※七官(後に八官)⇒議政官・行政官・会計官・神祇官・軍務官・外国官・刑法官、(民部官) ●版籍奉還後…二官六省。律令的太政官制に基づく復古的なもので、三権分立制は消え、太政官の上に神祇官が置かれた <ul style="list-style-type: none"> ※六省⇒大蔵省・兵部省・外務省・民部省・刑部省・宮内省 ●廃藩置県後…天皇を輔弼する最高責任者の太政大臣以下、納言(その後、左・右大臣と改称)、参議などがこれを構成する、太政官の最高機関の正院、行政事務を審議する右院、議院・諸立法の事を議する左院が置かれて太政官三院制が成立し、その下に各省が設置され、中央集権の官僚政府の基礎が固まった。 <ul style="list-style-type: none"> ※1873年には、強大な大蔵省の権限を抑え、正院の権限を拡大するために改革が行われ、正院には参議を議官とする内閣が設置されて、立法・行政をはじめとする国政の中核機関に。右院は臨時に開く機関にかえられた。そして、征韓論をめぐる政変後から、参議と各省の長官の兼任制が確立してゆき、参議の権限はしだいに強大に ●漸次立憲政体樹立の詔の発出後…左右両院は廃止。正院のもとに元老院と大審院が設置。後に地租軽減・政費節減の実施に伴う機構改革の一環で、正院の称は廃止され、名実ともに内閣が中核機関に
<p>「富岡日記」の作者と内容を説明せよ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●和田英●当時の富岡製糸場の実態や人間関係、母の封建的な倫理道徳観に

	ついて叙述
「楽翁公伝」の作者と内容を簡潔に説明せよ	● 渋沢栄一 ● 松平定信の伝記
違式註違条例を簡潔に説明せよ	● 軽微な犯罪を取り締まる単行の刑罰法で、入れ墨・男女混浴などが禁止された
内務省に設置された東京气象台で指導を行った外国人	● ジョイナー
対露同志会の会長と内容を簡潔に説明せよ	● 近衛篤磨 ● 対露強硬論を主張した国家主義団体で、開戦を煽る活動をして政府に影響を与えた
与謝野晶子を「乱臣・賊子」と非難した人物と、それへの晶子の反論	● 大町桂月 ● 与謝野晶子は「ひらきぶみ」で反論
戦地の夫を思う妻の心を歌った長詩「お百度詣り」の作者	● 大塚楠緒子
「風俗画法」の発行元と内容を簡潔に説明	● 東陽堂 ● 西洋のイラスト雑誌の影響を受け、最初に「画法」を名乗った。江戸時代風俗の考証、各地に伝わる地方風俗の紹介、刊行時における流行風俗の記録を編集方針とした
日本最初の本格的な女性雑誌名とその編者名	● 「女学雑誌」 ● 巖本善治
<p>主な作品の作者・訳者(追加分)</p> <p>【小説・詩など】</p> <p>「安愚楽鍋」⇒ 仮名垣魯文</p> <p>「経国美談」⇒ 矢野竜溪</p> <p>「佳人之奇遇」⇒ 東海散士</p> <p>「雪中梅」⇒ 末広鉄腸</p> <p>「あひびき」⇒ 二葉亭四迷の翻訳</p> <p>「我楽多文庫」⇒ 硯友社の文芸同人誌</p> <p>「夏木立」「胡蝶」⇒ 山田美妙</p> <p>「五重塔」⇒ 幸田露伴</p> <p>「高野聖」⇒ 泉鏡花</p> <p>「若菜集」「破戒」「夜明け前」⇒ 島崎藤村</p> <p>「天地有情」⇒ 土井晩翠</p> <p>「海潮音」⇒ 上田敏</p> <p>「たけくらべ」「にごりえ」⇒ 樋口一葉</p> <p>「歌よみに与ふる書」「病牀六尺」⇒ 正岡子規</p> <p>「ホトギス」を主宰 ⇒ 高浜虚子</p> <p>「アララギ」を創刊、「野菊の墓」⇒ 伊藤左千夫</p> <p>「土」⇒ 長塚節</p> <p>「不如帰」「思出の記」「自然と人性」⇒ 徳富蘆花</p> <p>「武蔵野」「牛肉と馬鈴薯」⇒ 国木田独步</p> <p>「蒲団」「田舎教師」⇒ 田山花袋</p> <p>「徴」「あらくれ」⇒ 徳田秋声</p>	

<p>「何処へ」⇒正宗白鳥</p> <p>「一握の砂」「悲しき玩具」「時代閉塞の現状」⇒石川啄木</p> <p>【絵画・彫塑など】</p> <p>「悲母親音」⇒狩野芳崖</p> <p>「竜虎図」「白雲紅樹」⇒橋本雅邦</p> <p>「落葉」「黒き猫」⇒菱田春草</p> <p>「鮭」「山形市街図」⇒高橋由一</p> <p>「収穫」⇒浅井忠</p> <p>「読書」「湖畔」「舞妓」⇒黒田清輝</p> <p>「海の幸」⇒青木繁</p> <p>「南風」⇒和田三造</p> <p>「天平の面影」⇒藤島武二</p> <p>「渡頭の夕暮」「少女新聞を読む」⇒和田英作</p> <p>「夜汽車」⇒赤松麟作</p> <p>「車夫の家族」⇒満谷国四郎</p> <p>「老猿」⇒高村光雲</p> <p>「坑夫」「女」⇒荻原守衛</p> <p>「ゆあみ」⇒新海竹太郎</p>	
<p>明治前期の伝染病の流行について説明</p>	<p>●19世紀初期に日本に初めて侵入して1858年などに大流行したコレラは、都市のスラム化や上下水道の未整備などを背景として明治初期でも流行●様々な流言が飛び交ったため患者の強制隔離や避病院建設に反対したり警察の取り締まりに反抗するコレラ一揆も多発●1880年には「伝染病予防規則」が制定された●後に検疫の強化などにより大流行は終息して死者は減少●コレラは衛生行政の原点となり、近代的衛生行政も次第に人々に受容されるようになり、衛生環境や栄養状態の改善、北里柴三郎や志賀潔らの伝染病研究所における研究などによる伝染病対策の進歩などにより死亡率は少しずつ低下</p>
<p>第一次世界大戦による大戦景気時に猛威を振るった感染症名を記せ</p>	<p>●スペイン風邪</p>
<p>美濃部達吉の著書を3つ</p>	<p>●「憲法講話」「憲法撮要」(1923年)「逐条憲法精義」</p>
<p>「大正新時代の天祐」は誰の言葉で、その意味とは</p>	<p>●井上馨●第一次世界大戦により日本の貿易輸出が伸びて、日露戦争以来の経済不況が終焉し、対外的には中国大陸に進出するチャンスであるという意味</p>
<p>「死線を越えて」の作者と内容を簡潔に説明</p>	<p>●賀川豊彦●キリスト教社会主義思想を背景にした自伝的社会小説</p>
<p>荊冠旗とは何か</p>	<p>●西光万吉が考案した全国水平社の旗</p>
<p>鹿子木孟郎の功績</p>	<p>●関西美術院などで指導し関西洋画壇に重きをなす。油絵の「関東大震災」で悲惨な状況を活写</p>
<p>「中央公論」を確立した編集者名を記せ</p>	<p>●滝田栲陰</p>

「代議政治の論理」の作者と記せ	●石橋湛山
「日本資本主義発達史講座」の企画・編集者名を記せ	●野呂栄太郎
「古寺巡礼」「風土」「鎖国」の著者名を記せ	●和辻哲郎
<p>(追加分)</p> <p>【大正期の文学】</p> <p>「お目出たき人」「その妹」「人間万歳」「友情」⇒武者小路実篤</p> <p>「暗夜行路」「和解」「城の崎にて」⇒志賀直哉</p> <p>「或る女」「カインの末裔」⇒有島武郎</p> <p>「出家とその弟子」⇒倉田百三</p> <p>「あめりか物語」「腕くらべ」⇒永井荷風</p> <p>「刺青」「痴人の愛」「細雪」⇒谷崎潤一郎</p> <p>「羅生門」「鼻」「河童」⇒芥川龍之介</p> <p>「恩讐の彼方に」「父帰る」「真珠夫人」⇒菊池寛</p> <p>「波」⇒山本有三</p> <p>「機械」「旅愁」⇒横光利一</p> <p>「伊豆の踊子」「雪国」⇒川端康成</p> <p>「道程」(詩集)「手」「鯨」(彫刻)⇒高村光太郎</p> <p>「月に吠える」⇒萩原朔太郎</p> <p>「あにいもと」「抒情小曲集」⇒室生犀星</p> <p>「赤光」⇒斎藤茂吉</p> <p>「紫禁城」⇒梅原龍三郎</p> <p>「金蓉」⇒安井曾太郎</p> <p>「麗子像」「道路と土手と塀」⇒岸田劉生</p> <p>「黒船屋」⇒竹久夢二</p> <p>「生々流転」⇒横山大観</p> <p>「白狐」⇒下村観山</p> <p>「髪」⇒小林古径</p> <p>「炎舞」⇒速水御舟</p> <p>「日食」⇒安田靫彦</p> <p>「ローマ使節」⇒前田青邨</p> <p>「斑猫」⇒竹内栖鳳</p> <p>「大原女」「舞妓林泉」⇒土田麦僊</p> <p>「阿倍仲麻呂明州望月図」⇒富岡鉄斎</p> <p>「築地明石町」⇒鏑木清方</p> <p>「転生」「五浦釣人」⇒平櫛田中</p>	

「墓守」「いづみ」⇒朝倉文夫	
「太陽のない街」の作者と内容を簡潔に説明せよ	●徳永直●プロレタリア文学の代表作の1つで、 共同印刷争議 における労働組合の闘争および敗北を描いた小説
「海に生くる人々」の作者と内容を簡潔に説明せよ	●葉山嘉樹●貨物船の海上労働者たちが、次第に階級意識に目覚めていく過程を描いた、プロレタリア文学の代表作
柳永悦の著作2つと功績	●「朝鮮の友に贈る書」「失われんとする一朝鮮建築のために」●朝鮮の陶磁器や芸術に理解を深め、日本の朝鮮政策を批判すると同時に京城に朝鮮民族美術館を開設。民衆的工芸の意から「民芸」の語をつくり、 民芸運動 を総括し、東京駒場に日本民芸館を設立。
鈴木商店を第一次世界大戦期に総合商社へと発展させた人物	●金子直吉
「世界文化」(1935年)の内容を簡潔に説明	●海外における反戦や反ファシズムの情報を掲載
「言論・出版・集会・結社等臨時取締法」(1941年)の内容を簡潔に説明	●言論報道機関の全面的な戦争協力体制をつくるための法●同時に施行の「映画法」や「新聞紙等掲載制限令」と並び、政府統制下に表現の自由を抑圧
内閣情報局(1940年)を簡潔に説明	●内閣直属の国家機関で、言論、思想統制の中核となる
企業整備令(1942年)を簡潔に説明	●中小工商业を整理統合することを目的とした
花岡事件(1945年)を簡潔に説明せよ	●花岡鉱山で起きた大規模な中国人労働者の蜂起事件